

4.「2030年の国土と生活の将来ビジョンに関するアンケート」の実施

インターネットを活用し、不特定多数の国民に対するアンケート調査を実施し、国民の国土・国民生活の将来像に対するニーズを探った。なお、実施にあたっては、対外的な広報効果が高まるように努めた。

- ・調査結果の概要
- ・記者発表資料

2030年の国土と生活の将来ビジョンに関するアンケート 結果概要

1. 調査概要

- 調査実施期間: 2006年3月14日～2006年3月22日
- 調査対象: gooリサーチコンシューマーモニター
- 調査方法: gooリサーチを利用したWebアンケート調査
- 有効回答数: 27,259
- 調査項目: 17問(回答者属性を含む)

2. 回答者属性(主な属性)

1)【現在の生活満足度】あなたは、現在の生活水準に満足していますか。

満足している	1507	5.5%
どちらかといえば満足している	11145	40.9%
どちらかといえば満足していない	9545	35.0%
満足していない	5062	18.6%
	27259	100.0%

2)【性別】性別をお教えてください。

男性	13175	48.3%
女性	14084	51.7%
	27259	100.0%

3)【年齢層】年代をお教えてください。

－19歳	600	2.2%
20－29歳	6305	23.1%
30－39歳	10882	39.9%
40－49歳	6590	24.2%
50－59歳	2175	8.0%
60－69歳	575	2.1%
70歳－	132	0.5%
	27259	100.0%

4)【居住地方】あなたがお住まいの「地方」をお教えてください

北海道地方	1474	5.4%
東北地方	1912	7.0%
関東地方	13268	48.7%
北陸地方	422	1.5%
中部地方	2875	10.5%
近畿地方	3929	14.4%
中国地方	1132	4.2%
四国地方	583	2.1%
九州地方	1540	5.6%
沖縄地方	124	0.5%
	27259	100.0%

5)【居住自治体規模】あなたのお住まいの地域は、以下のいずれに該当しますか。

東京23区	3484	12.8%
上記以外の東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)	8444	31.0%
大阪市、京都市、神戸市、名古屋市	1767	6.5%
上記以外の近畿圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)、中部圏(愛知県・三重県・岐阜県)	3816	14.0%
地方の中核都市(札幌市、仙台市、静岡市、広島市、北九州市、福岡市)とそ	2345	8.6%
上記を除く地方の中核都市(県庁所在都市及び人口30万人以上の都市)とそ	2855	10.5%
上記を除く地方の中小都市	3009	11.0%
地方の町村	1539	5.7%
	27259	100.0%

6)【職業】あなたの職業を教えてください

農林・漁業・商工の自家営業(家族従業員を含む)	1128	4.1%
自由業(開業医、芸術家など)	730	2.7%
管理職(会社社長、団体役員、局長、部長など)	1465	5.4%
事務職(課長以下の事務系・技術系職員、教員など)	8977	32.9%
販売・サービス・技能職(運転手、職人、工員、セールスマンなど)	3511	12.9%
アルバイト・パートタイム	2897	10.6%
専業主婦・主夫	4863	17.8%
学生	1785	6.6%
無職	1152	4.2%
その他	751	2.8%
	27259	100.0%

3. 回答集計結果(単純集計)

問1 あなたは、2030年には今と比べてあなたの生活水準が改善していると思いますか。
(n=27259)

改善していると思う	28.0%
いまと変わらないと思う	26.4%
悪くなっていると思う	36.2%
わからない	9.4%
	100.0%

問2 あなたは、将来(2030年前後を想定して)、どのようなところに住みたいと思いますか。
(n=27259)

東京23区	13.4%
上記以外の東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)	23.7%
大阪市、京都市、神戸市、名古屋市	7.2%
上記以外の近畿圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)、中部圏(愛知県・三重県・岐阜県)	10.1%
地方の中核都市(札幌市、仙台市、静岡市、広島市、北九州市、福岡市)とその	10.9%
上記を除く地方の中核都市(県庁所在都市及び人口30万人以上の都市)とその	8.7%
上記を除く地方の中小都市	8.2%
地方の町村	10.5%
海外	7.2%
	100.0%

問3 2030年のあなたの生活を考えたときに、以下の項目について、あなたは、どのように思いますか。
(n=27259)

	ぜひ実現して欲しいと思う	どちらかといえば実現して欲しいと思う	どちらかといえば実現しなくてもよいと思う	実現しなくてもよいと思う
現在の収入や衣食住の生活水準が改善していること	70.4%	26.1%	2.4%	1.0%
働き方、住まい方、育児・介護、学び方、文化・娯楽、社会貢献など、自分の好みに応じて、いつでも自由に最適なライフスタイルが選べること	63.8%	33.1%	2.3%	0.8%
仕事、働く場所、就業時間など多様な働き方が可能になること	57.4%	35.7%	4.9%	2.0%
年間を通じて休暇が多く取れるなど、余暇活動や文化活動などに重点を置いた「ゆとり」のある暮らしが送れること	58.0%	35.2%	5.3%	1.5%
家族構成の変化などライフステージごとに自由な住み替えができること	38.8%	43.5%	14.2%	3.4%
子育てや高齢者の介護・扶養が、家族だけでなく、社会全体で担うことが可能になること	59.3%	35.0%	4.4%	1.3%
自分が住んでいる地域・社会をよくする活動ができる時間や機会が確保されること	39.1%	47.0%	11.5%	2.4%

問4 2030年の我が国の社会・国土を考えたときに、以下の項目について、あなたは、どのように思いますか。
(n=27259)

	ぜひ実現して 欲しいと思う	どちらかといえ ば実現して欲 しいと思う	どちらかといえ ば実現しなくて もよいと思う	実現しなくても よいと思う
地震や水害などの災害に強い国土	75.0%	23.1%	1.4%	0.6%
地域間の交流を促進する道路などの交通ネットワークが整備されている国土	43.7%	41.9%	11.5%	3.0%
東アジアなどの外国との交流・連携を支える空港・港湾などの交通ネットワークが整備されている国土	23.4%	46.0%	24.1%	6.4%
いつでもどこでも見たり、聴いたり、知ることができる情報ネットワークが整備された国土	35.4%	47.3%	14.7%	2.7%
産業の国際的な競争力の確保など経済活力のある	42.1%	48.2%	8.3%	1.3%
良好な景観(ランドスケープ)が形成された美しい国	46.8%	43.2%	8.4%	1.6%
経済成長ばかりでなく自然と調和(共生・循環)した持続的に発展可能な国土	59.0%	36.4%	4.0%	0.7%
地域コミュニティが維持されている社会	41.0%	49.4%	8.2%	1.4%
外国人など多様な人材・文化が共存する社会	24.7%	44.7%	23.1%	7.5%
治安が確保された安全な社会	84.7%	14.2%	0.8%	0.3%

問5 我が国の総人口は、2004年12月の1億2783万人をピークに減少に転じつつあり、2050年には1億59万人、2100年には6414万人になると予測されています。また、今後、急速に高齢化が進み、現在の約5人に1人が高齢者(65歳以上)の時代から、2050年には約3人に1人が高齢者になります。あなたは、このような日本の総人口の減少と急速な高齢化について、どのようにお考えですか。

(n=27259)

人口減少、高齢化ともに心配だ	67.4%
人口減少は心配だが、高齢化は心配していない	4.6%
高齢化は心配だが、人口減少は心配していない	20.6%
人口減少、高齢化ともに心配していない	4.6%
特に関心がない	2.9%
	100.0%

問6 あなたは、我が国が人口減少時代を乗り切るために、どのような対策が重要だと思いますか。あてはまるものを選んで下さい。

(複数回答可:最大100%)

女性や高齢者が働きやすい環境をつくる	68.4%
少ない労働力でもいように生産性の向上や技術進歩を図る	30.9%
一定の外国人を受け入れる	10.4%
子供を産みやすく、育てやすい環境をつくる	78.1%
特に対策は必要ない	2.7%

問7 (問6で「一定の外国人を受け入れる」を選択された方のみ回答)外国人の受け入れについて、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

(n=2829)

日本の産業の活性化につながる、専門的な技術、技能や知識を持っている外国人に限って、積極的に受け入れる(現在の制度の枠内で受け入れる)	10.8%
上記に加え、看護や介護などに従事する外国人にも対象を拡げて受け入れるが、このような専門的な技術、技能や知識をもたない「いわゆる単純労働者」については、受け入れない	24.1%
専門的な技術、技能や知識を持っている外国人だけでなく、専門的な技術、技能や知識をもたない「いわゆる単純労働者」についても、労働力不足を補うために必要な分だけ、期間・職種などに条件を付けた上で受け入れる	38.4%
今後の大幅な人口減少に対応するためには、専門的な技術、技能や知識を持っているか否かにかかわらず、外国人を移民として積極的に受け入れる	26.7%
	100.0%